

日立金属株式会社

2022年度第2四半期決算 説明資料

[目次]

1. 業績概要
2. セグメント別業績
3. 財政状態
4. 連結キャッシュ・フロー
5. 資本再編の状況について
6. 社名変更について

2022年10月26日

1. 業績概要

1-1. 2022年度2Q累計概況(1)

経営環境

本内容は、各種資料を参考に当社が推定したものです。

- (1) 資材価格は、数十年振りの水準となる円安進行の影響により高値継続。
- (2) 部品や素材の供給不足や国際物流の需給が逼迫した状況が継続。
- (3) 中国のゼロコロナ政策を受けたロックダウンやウクライナ情勢などの影響継続。

売上収益

- (1) 原材料価格上昇(価格スライド制)や円安影響により前年同期比増収。
- (2) 事業分野別状況(前年同期比)

[自動車] 製品群別の数量動向は、自動車鑄物は北米市場での需要増により増加。
産機材、磁性材料は、完成車メーカーの生産調整の影響を受け減少。
自動車用電装部品の需要は2Qから回復傾向。

[航空機] 航空機関連材料は、中小型旅客機向け需要が大きく回復。

[FA・ロボット] 自動車や半導体等の製造に関わる設備投資需要が増加。

[エレクトロニクス] 情報通信機器や自動車用途の需要が増加。

調整後営業利益・当期利益*

原材料価格・電力・輸送費増などの減益要因があったが、コスト削減施策や円安による利益増加等により、前年同期比で、調整後営業利益98億円増益、当期利益180億円増益。

なお、資源価格高騰に伴う諸経費やエネルギーコスト増加に対応し、販売価格改定を実施中。

2022年度通期見通し

需要動向は、従来想定を若干下回るが、円安効果を見込むほか、販売価格改定やコスト削減施策を実行中。通期見通しは、前回予想を据え置く。

*親会社株主に帰属する当期利益

1-2. 業績

金額単位：億円 (斜体文字は利益率)	2021年度				2022年度				2Q累計 前年同期比 (C/A-1)×100[%] またはC-A	通期 前年度比 (D/B-1)×100[%] またはD-B
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	通期(B)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(C)	通期予想(D)		
	1\$=109円 1€=132円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=130円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=131円 1元=17.0円	1\$=112円 1€=131円 1元=17.5円	1\$=130円 1€=138円 1元=19.6円	1\$=138円 1€=139円 1元=20.2円	1\$=134円 1€=139円 1元=19.9円	下期前提為替 1\$=140円 1€=140円 1元=20.0円		
売上収益	2,269	2,295	4,564	9,427	2,768	2,919	5,687	11,000	+25%	+17%
調整後営業利益*	3.7% 85	3.0% 68	3.4% 153	2.8% 268	4.3% 118	4.6% 133	4.4% 251	6.4% 700	+98	+432
IFRS営業利益	1.9% 42	4.6% 106	3.2% 148	2.8% 267	3.5% 98	3.9% 114	3.7% 212	-	+64	-
税引前当期利益	43	110	153	327	199	185	384	415	+231	+88
親会社株主に 帰属する当期利益	30	83	113	120	151	142	293	300	+180	+180

*:調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

** : 2022年度2Q累計の税引前当期利益は、為替差益122億円を含む。

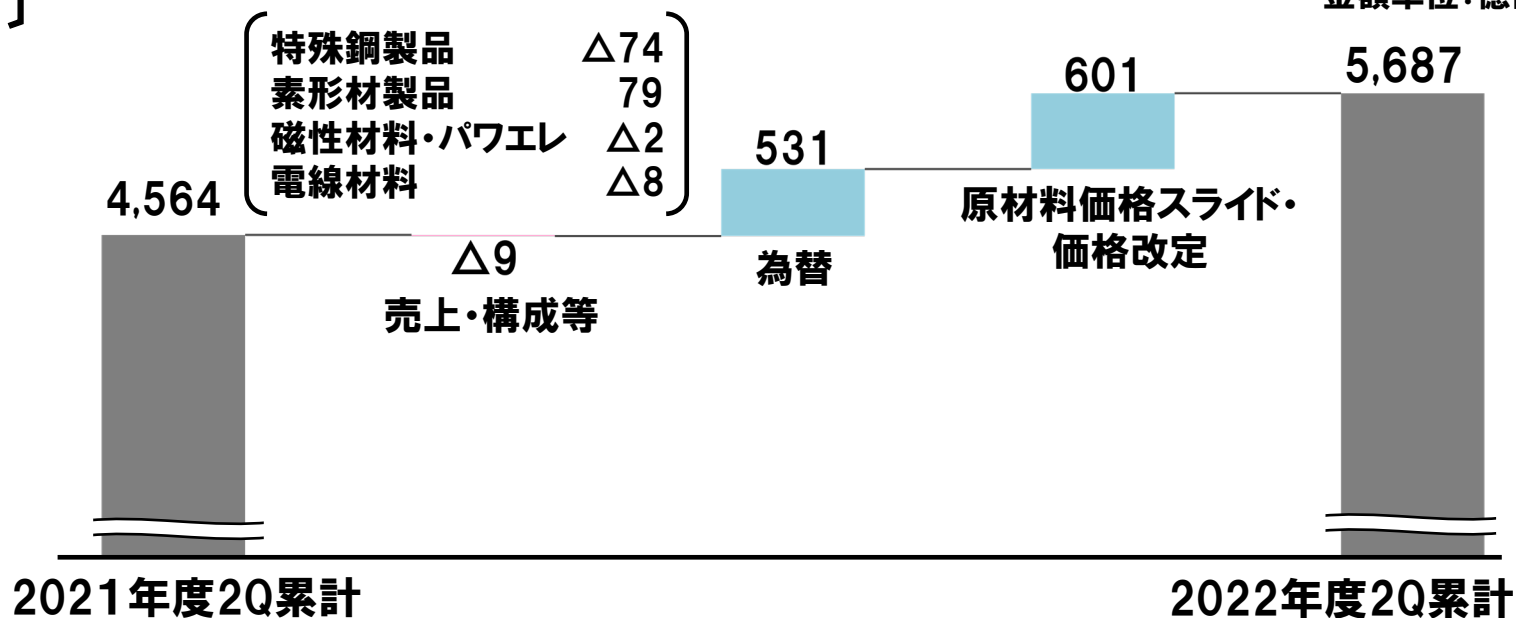
地域別売上

金額単位：億円		日本	北米	中国	その他アジア	欧州	その他
2021年度	売上収益	1,965	1,316	412	569	211	91
2Q累計	売上比率	43%	29%	9%	12%	5%	2%
2022年度	売上収益	2,115	1,947	483	742	273	127
2Q累計	売上比率	37%	34%	8%	13%	5%	3%
	売上収益 前年同期比	+8%	+48%	+17%	+30%	+29%	+40%

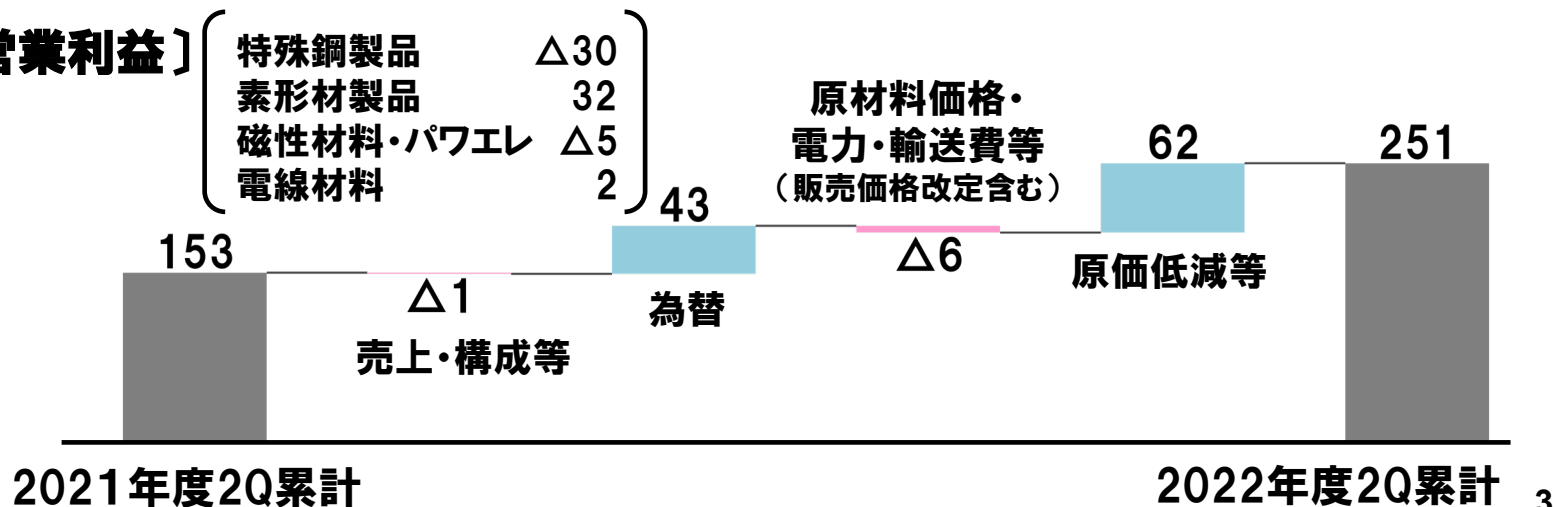
1-3. 売上収益・調整後営業利益の増減要因(前年同期比)

〔売上収益〕

金額単位：億円



〔調整後営業利益〕



日立金属株式会社

2022年度第2四半期決算 説明資料

[目次]

1. 業績概要
2. セグメント別業績
3. 財政状態
4. 連結キャッシュ・フロー
5. 資本再編の状況について
6. 社名変更について

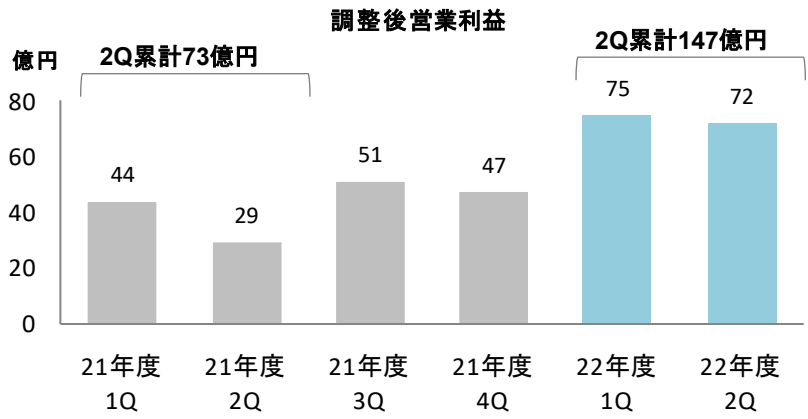
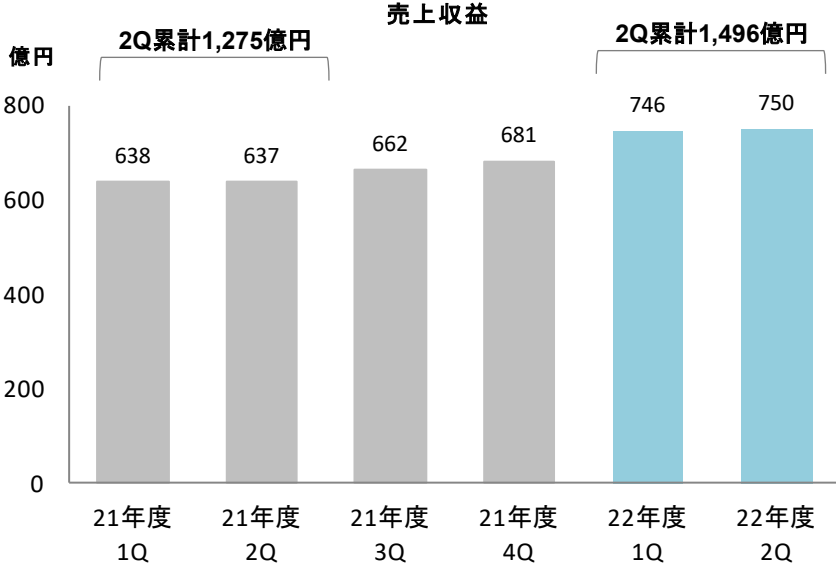
2. セグメント別業績

2-1. 業績一覧

金額単位:億円 (斜体文字は利益率)		2021年度			2022年度			2Q累計 前年同期比 (B/A-1)×100[%] またはB-A
		1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(B)	
		1\$=109円 1€=132円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=130円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=131円 1元=17.0円	1\$=130円 1€=138円 1元=19.6円	1\$=138円 1€=139円 1元=20.2円	1\$=134円 1€=139円 1元=19.9円	
金属材料	売上収益	638	637	1,275	746	750	1,496	+17%
	特殊鋼製品 調整後営業利益	6.9% 44	4.6% 29	5.7% 73	10.1% 75	9.6% 72	9.8% 147	+74
	IFRS営業利益	7.2% 46	4.1% 26	5.6% 72	10.2% 76	9.6% 72	9.9% 148	+76
	売上収益	761	769	1,530	1,047	1,093	2,140	+40%
	素形材製品 調整後営業利益	Δ0.1% Δ1	Δ2.9% Δ22	Δ1.5% Δ23	0.3% 3	1.2% 13	0.7% 16	+39
	IFRS営業利益	Δ1.4% Δ11	Δ2.5% Δ19	Δ2.0% Δ30	Δ0.1% Δ1	1.2% 13	0.6% 12	+42
	小計*	1,399	1,406	2,805	1,793	1,843	3,636	+30%
	調整後営業利益	3.1% 43	0.5% 7	1.8% 50	4.4% 78	4.6% 85	4.5% 163	+113
	IFRS営業利益	2.5% 35	0.5% 7	1.5% 42	4.2% 75	4.6% 85	4.4% 160	+118
磁性材料・ パワー エレクトロニクス	売上収益	318	341	659	385	415	800	+21%
	調整後営業利益	7.5% 24	12.6% 43	10.2% 67	8.8% 34	8.0% 33	8.4% 67	0
	IFRS営業利益	7.9% 25	13.2% 45	10.6% 70	8.8% 34	8.4% 35	8.6% 69	Δ1
機能部材	売上収益	550	547	1,097	590	662	1,252	+14%
	電線材料 調整後営業利益	2.9% 16	1.8% 10	2.4% 26	Δ1.0% Δ6	0.3% 2	Δ0.3% Δ4	Δ30
	IFRS営業利益	0.7% 4	1.5% 8	1.1% 12	Δ1.7% Δ10	Δ0.6% Δ4	Δ1.1% Δ14	Δ26
小計*	868	888	1,756	975	1,077	2,052	+17%	
調整後営業利益	4.6% 40	6.0% 53	5.3% 93	2.9% 28	3.2% 35	3.1% 63	Δ30	
IFRS営業利益	3.3% 29	6.0% 53	4.7% 82	2.5% 24	2.9% 31	2.7% 55	Δ27	
その他・調整額	売上収益	2	1	3	0	Δ1	Δ1	-
	調整後営業利益	2	8	10	12	13	25	+15
	IFRS営業利益	Δ22	46	24	Δ1	Δ2	Δ3	Δ27
合計	売上収益	2,269	2,295	4,564	2,768	2,919	5,687	+25%
	調整後営業利益	3.7% 85	3.0% 68	3.4% 153	4.3% 118	4.6% 133	4.4% 251	+98
	IFRS営業利益	1.9% 42	4.6% 106	3.2% 148	3.5% 98	3.9% 114	3.7% 212	+64

*:セグメント間相殺前の単純合計値

2-2. セグメント別業績: 特殊鋼製品(1)



【売上収益】

(前年同期比)

- **工具鋼**
国内向けの需要が減少したが、原材料価格上昇(価格スライド制)等により増加。
- **産機材**
自動車関連製品の需要は減少したが、その他の産業機器向け材料が前年同期並みとなったことに加え、原材料価格上昇(価格スライド制)等により増加。
- **航空機・エネルギー関連材料**
主力の航空機関連材料で中小型旅客機向け需要が大きく回復。エネルギー関連材料も堅調に推移し、全体として増加。
- **電子材**
2Qに入り需要の鈍化がみられたが、有機ELパネル関連部材が増加、半導体パッケージ材料の需要も堅調となり、全体としては増加。
- **ロール**
射出成形機用部品は前年同期並み。各種ロールや鉄骨構造部品が増加。

【調整後営業利益】

航空機・エネルギー関連材料や電子材の需要増加に加え、円安やコスト削減等により増益。

2-3. セグメント別業績:特殊鋼製品(2)

金額単位:億円	2021年度			2022年度			増減 (B/A-1)×100[%] またはB-A
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(B)	
売上収益	638	637	1,275	746	750	1,496	+17%
特殊鋼 ^{*1}	584	583	1,167	686	685	1,371	+17%
ロール ^{*1}	54	53	107	61	64	125	+17%
調整後営業利益	44	29	73	75	72	147	+74
調整後営業利益率	6.9%	4.6%	5.7%	10.1%	9.6%	9.8%	+4.1pt
IFRS営業利益	46	26	72	76	72	148	+76

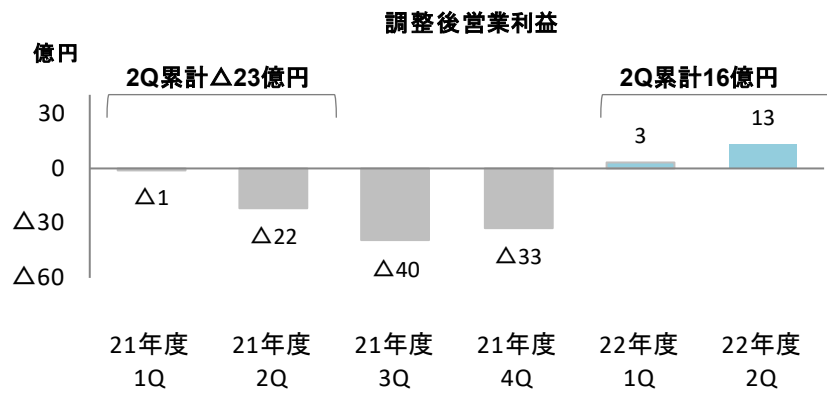
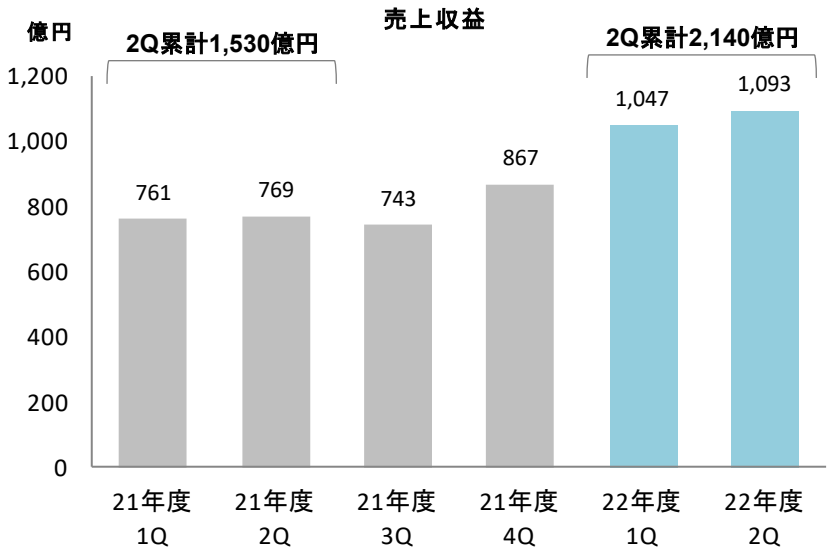
製品別増減(前年同期比)	2021年度			2022年度		
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計
工具鋼 ^{*2}	+25%	+32%	+28%	+21%	+17%	+19%
産機材 ^{*2}	+34%	+27%	+30%	△1%	+6%	+2%
航空機・エネルギー ^{*2}	△20%	△9%	△15%	+49%	+41%	+45%
電子材 ^{*2}	+27%	+27%	+27%	+22%	+21%	+21%
ロール ^{*3}	△2%	△1%	△2%	+13%	+22%	+17%

*1:セグメント間相殺前の単純合計値

*2:簡易的な方法により集計した売上収益(金額)の増減比を表示

*3:セグメント間相殺前の単純合計値の増減比を表示

2-4. セグメント別業績: 素形材製品(1)



【売上収益】 (前年同期比)

- 自動車用鋳物**
 - 鋳鉄製品:** 北米市場で商用車や建設機械・農業機械向け需要増加。原材料価格上昇(価格スライド制)、円安もあり、全体としても増加。
 - 耐熱鋳造部品:** 製品構成の変化や完成車メーカーの生産調整の影響により需要が減少。
- 配管機器**
 - 継手類:** 国内は価格改定前の駆け込み需要があった前年同期との比較では減少。米国は住宅着工戸数が高水準となり増加し、全体としては増加。
 - 半導体製造装置用機器:** 設備投資需要が好調に推移。

【調整後営業利益】

原材料・副資材価格およびエネルギー・輸送コスト等の上昇や耐熱鋳造部品の需要減少が利益を押し下げたが、北米市場における商用車や建設機械・農業機械の需要増加等により、増加。

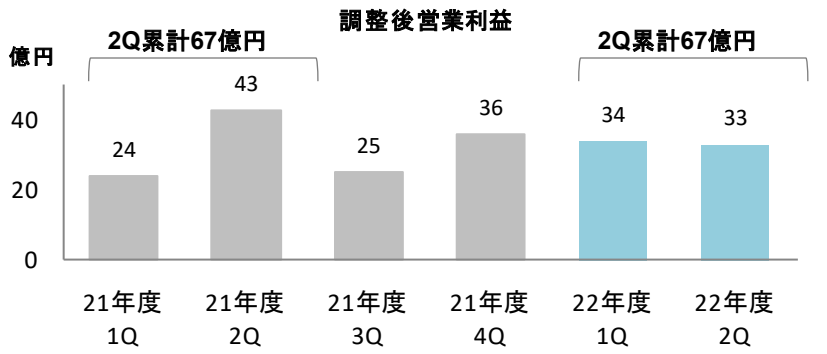
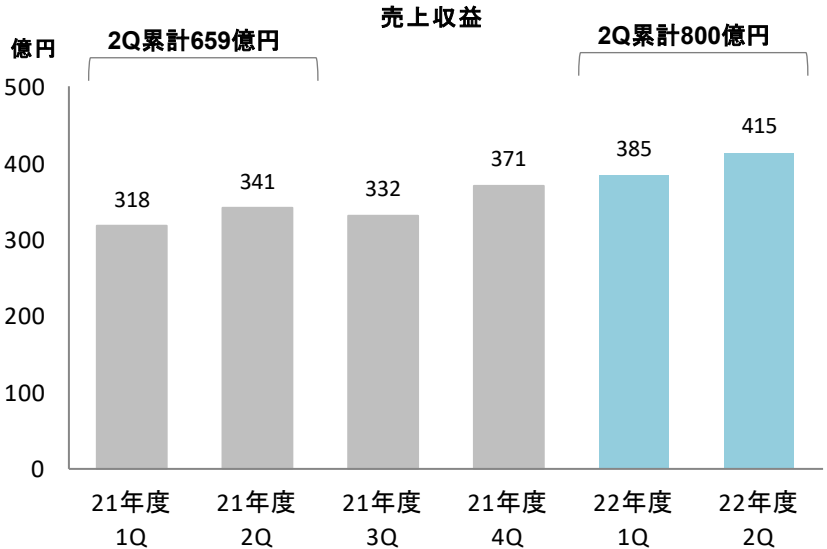
2-5. セグメント別業績:素形材製品(2)

金額単位:億円	2021年度			2022年度			増減 (B/A-1)×100 [%] またはB-A
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(B)	
売上収益	761	769	1,530	1,047	1,093	2,140	+40%
自動車鑄物*	649	645	1,294	914	955	1,869	+44%
Waupaca社*	484	490	974	739	741	1,480	+52%
配管機器*	113	123	236	132	139	271	+15%
調整後営業利益	△ 1	△ 22	△ 23	3	13	16	+39
調整後営業利益率	△0.1%	△2.9%	△1.5%	0.3%	1.2%	0.7%	+2.2pt
IFRS営業利益	△ 11	△ 19	△ 30	△ 1	13	12	+42

*:セグメント間相殺前の単純合計値

製品別増減(前年同期比)	2021年度			2022年度		
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計
鑄鉄製品 [Waupaca社] (重量)	+88%	△2%	+30%	+6%	+5%	+5%
鑄鉄製品 [その他] (重量)	+102%	+5%	+41%	+4%	+26%	+14%
耐熱鑄造部品 ハーキュナイト® (重量)	+84%	+13%	+41%	△27%	△38%	△32%

2-6. セグメント別業績: 磁性材料・パワーエレクトロニクス(1)



【売上収益】

(前年同期比)

・**磁性材料**

希土類磁石:

自動車用電装部品向けは需要減少、FA・ロボット等産業機器向けも需要が低調となったが、原材料価格上昇(価格スライド制)影響により増加。

フェライト磁石:

自動車用電装部品向け需要が減少したが、原材料価格上昇(価格スライド制)影響により増加。

・**パワーエレクトロニクス**

軟磁性材料およびその応用品:

スマートフォンやタブレット端末、サーバー機器等の情報通信向けが好調。

アモルファス金属材料もアジア向け、米州向けが増加。

セラミックス製品:

自動車向けが伸長、サーバー機器向けや医療機器向けも高水準となり、全体として増加。

【調整後営業利益】

磁性材料は需要が減少したが、円安やコスト削減に加え、パワーエレクトロニクスの需要増等により前年同期並み。

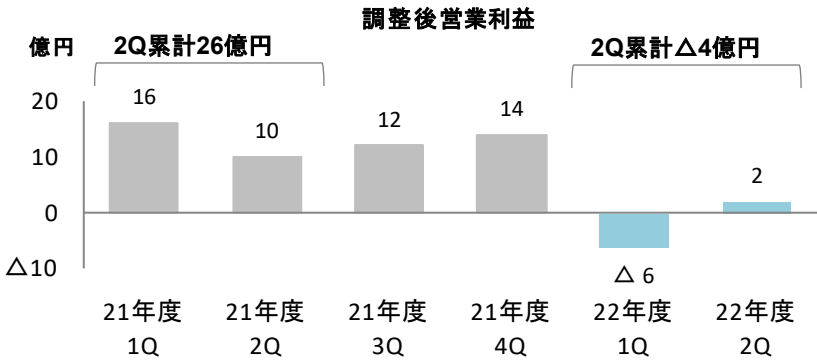
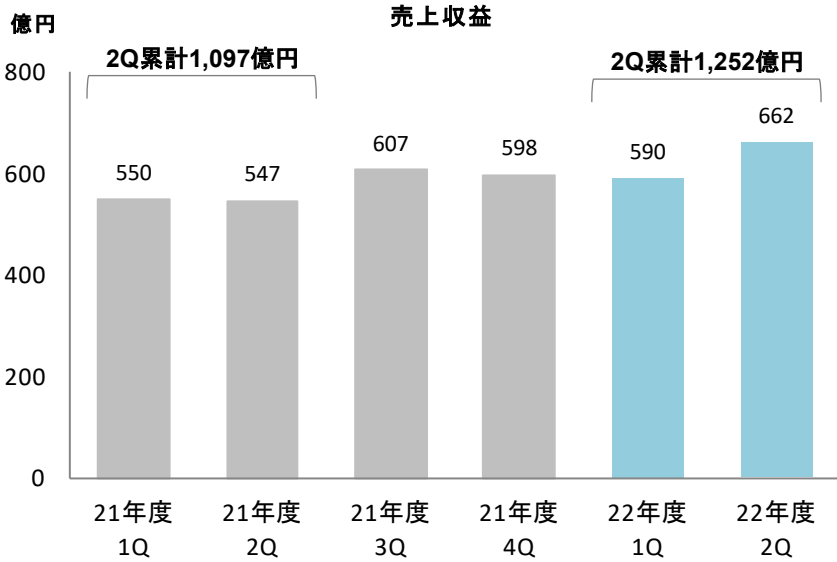
2-7. セグメント別業績：磁性材料・パワーエレクトロニクス(2)

金額単位：億円	2021年度			2022年度			増減 (B/A-1)×100[%] またはB-A
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(B)	
売上収益	318	341	659	385	415	800	+21%
磁性材料*	218	235	453	248	267	515	+14%
パワーエレクトロニクス*	100	106	206	138	147	285	+38%
調整後営業利益	24	43	67	34	33	67	0
調整後営業利益率	7.5%	12.6%	10.2%	8.8%	8.0%	8.4%	△1.8pt
IFRS営業利益	25	45	70	34	35	69	△1

*:セグメント間相殺前の単純合計値

製品別増減(前年同期比)	2021年度			2022年度		
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計
希土類磁石(重量)	+47%	+11%	+27%	△15%	△15%	△15%
フェライト磁石(重量)	+67%	+15%	+38%	△14%	△10%	△12%

2-8. セグメント別業績:電線材料(1)



【売上収益】

(前年同期比)

・電線

鉄道車両用電線:
中国向け需要回復により増加。

医療:
チューブ、ケーブルとも需要が増加。

巻線:
自動車や産業機器向けの需要は減少したが、
原材料価格上昇(価格スライド制)により増加。

機器用電線:
FA・ロボット向けが伸長。
以上により、電線全体では増加。

・自動車部品

1Qは完成車メーカーの生産調整を受け需要が減少したが、2Qに入り需要が回復傾向となったこと等により増加。

【調整後営業損益】

原材料・副資材価格および輸送コスト等の上昇に加え、北米からメキシコに生産移管をした自動車部品について、移管後の一時的な生産性低迷等により損失計上。なお、2Q(7月~9月)はコスト低減を進め黒字化。

2-9. セグメント別業績:電線材料(2)

金額単位:億円	2021年度			2022年度			増減 (B/A-1)×100 [%] またはB-A
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(B)	
売上収益	550	547	1,097	590	662	1,252	+14%
調整後営業利益	16	10	26	△6	2	△4	△30
調整後営業利益率	2.9%	1.8%	2.4%	△1.0%	0.3%	△0.3%	△2.7pt
IFRS営業利益	4	8	12	△10	△4	△14	△26

製品別増減(前年同期比)	2021年度			2022年度		
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計
鉄道*	△2%	△18%	△11%	△10%	+18%	+4%
医療*	△7%	+13%	+3%	+30%	+36%	+33%
FA・ロボット*	+48%	+56%	+52%	+42%	+57%	+49%
巻線*	+72%	+62%	+67%	+14%	+23%	+19%
電装部品*	+79%	0%	+30%	△4%	+34%	+14%

*:簡易的な方法により集計した売上収益(金額)の増減比を表示

成長分野売上割合 2021年度2Q累計 42%
2022年度2Q累計 44%

3. 財政状態

金額単位: 億円	2021年度末	2022年度2Q末	増減
	1\$=122円 1€=137円 1元=19.3円	1\$=145円 1€=142円 1元=20.4円	
資産合計	10,697	11,582	+885
売上債権	1,873	2,228	+355
棚卸資産	2,284	2,637	+353
固定資産	4,496	4,740	+244
負債合計	5,386	5,638	+252
有利子負債	1,969	1,893	△76
親会社株主持分	5,276	5,907	+631
非支配持分	35	37	+2
親会社株主持分比率	49.3%	51.0%	-
D/Eレシオ (倍)	0.37	0.32	△0.05
NET有利子負債*	723	784	+61

*: NET有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物

円安、原材料価格の上昇による運転資金の増加等、資産・負債ともに増加。

4. 連結キャッシュ・フロー

金額単位:億円	2021年度 2Q累計	2022年度 2Q累計	前年同期比
営業活動に関するキャッシュ・フロー（営業CF）	△ 91	169	+260
投資活動に関するキャッシュ・フロー（投資CF）	△ 22	△ 158	△136
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	△ 113	11	+124
コア・フリー・キャッシュ・フロー*	△ 223	△ 7	+216

*: コア・フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動に関するキャッシュ・フロー - 資本的支出

営業CF： 運転資金の増加はあったが、四半期利益の増加等により、前年同期比+260億円。
投資CF： 2021年度に資産売却収入があったことと2022年度の固定資産取得の増加等により、前年同期比△136億円。

5. 資本再編の状況について

- ✓ 2022年10月25日をもって、公開買付者による当社株式に対する公開買付け期間が終了、公開買付けが成立。
- ・ 当社株式152,194,289株の応募があり、買付予定数の下限(56,814,701株)以上となった。
- ・ 2022年11月1日付で、公開買付者の保所有する議決権は1,521,942個(所有割合35.60%)となり、当社の大株主第2位となる予定。(第1位は株式会社日立製作所)
- ✓ 今後予定される一連の取引により、上場廃止、日立製作所からベインキャピタルを軸とするコンソーシアムへの資本再編が完了予定。
- ✓ 2023年1月に商号を株式会社プロテリアルに変更予定。

6. 社名変更について

■新商号プロテリアル(PROTERIAL)について

日立金属株式会社は、2023年1月4日に「株式会社プロテリアル」に商号変更いたします。

PROTERIAL

新商号プロテリアル (PROTERIAL) は、当社の企業理念を構成するMission「質の量産」、Vision「持続可能な社会を支える高機能材料会社」、Values「至誠」「彊則彊(和すれば強し)」のエッセンスを反映しており、“PRO” + “MATERIAL” から作られています。PROが表すのは **Professional (専門的な)**、**Progressive (革新的な)**、**Proactive (主体的な)** の3つの言葉で、それぞれに「期待を超える仕事」「挑戦し続ける意志」「主体的な姿勢」という意味を込めています。MATERIALはこれら3つのPROに支えられた独創的な技術から生み出される、高機能材料を意味します。

当社グループはその製品と想いに根ざしたサービスを通じてお客さまの課題を解決し、世界の人々に新たな価値を提供して、持続可能な社会の実現に貢献し続けてまいります。

■日立金属の新社名「プロテリアル」紹介動画

<https://youtu.be/LE5sbQIoIfg>

右記のQRコードからもご覧いただけます。



参考データ(1)

金額単位: 億円	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度	2021年度	2021年度	2021年度	2021年度	2022年度	2022年度	2022年度	2022年度
	通期	通期	通期	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)	通期	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計	2022年度 通期予想
	1\$=111円 1€=128円 1元=16.5円	1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	1\$=106円 1€=124円 1元=15.7円	1\$=109円 1€=132円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=130円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=131円 1元=17.0円	1\$=114円 1€=130円 1元=17.8円	1\$=116円 1€=130円 1元=18.3円	1\$=112円 1€=131円 1元=17.5円	1\$=130円 1€=138円 1元=19.6円	1\$=138円 1€=139円 1元=20.2円	1\$=134円 1€=139円 1元=19.9円	1\$=140円 1€=140円 1元=20.0円
売上収益	10,234	8,814	7,616	2,269	2,295	4,564	2,344	2,519	9,427	2,768	2,919	5,687	11,000
調整後営業利益*1	514	144	△50	85	68	153	53	62	268	118	133	251	700
調整後営業利益率	5.0%	1.6%	△0.7%	3.7%	3.0%	3.4%	2.3%	2.5%	2.8%	4.3%	4.6%	4.4%	6.4%
その他の収益	107	86	97	11	75	86	24	70	180	14	11	25	-
その他の費用	△197	△621	△540	△54	△37	△91	△35	△55	△181	△34	△31	△65	-
IFRS営業利益	424	△391	△492	42	106	148	42	77	267	98	114	212	-
EBIT	453	△384	△492	46	114	160	56	126	342	204	194	398	510
EBITDA	962	168	12	162	230	392	172	243	807	325	315	640	985
税引前当期(四半期)利益	430	△406	△506	43	110	153	52	122	327	199	185	384	415
親会社株主に帰属する 当期(四半期)利益	314	△376	△423	30	83	113	22	△15	120	151	142	293	300
設備投資額	954	530	288	51	64	115	83	145	343	55	70	125	-
減価償却費	509	552	504	116	116	232	116	117	465	121	121	242	-
研究開発費	186	159	145	31	32	63	30	31	124	30	30	60	-
売上債権	1,953	1,577	1,676	1,821	1,867	1,867	1,914	1,873	1,873	2,135	2,228	2,228	-
棚卸資産	2,148	1,799	1,701	1,906	2,057	2,057	2,200	2,284	2,284	2,619	2,637	2,637	-
有利子負債	2,021	1,876	1,953	1,999	2,024	2,024	2,022	1,969	1,969	2,132	1,893	1,893	-
フリー・キャッシュ・フロー	△297	495	548	△99	△14	△113	△113	461	235	△90	101	11	-
ROIC*2	5.3%	1.7%	-	-	-	-	-	-	3.0%	-	-	-	-
ROE*3	5.5%	-	-	-	-	-	-	-	2.4%	-	-	-	-
ROA*4	2.9%	-	-	-	-	-	-	-	1.2%	-	-	-	-
CCC*5(日)	90.7	87.1	89.1	-	-	-	-	-	82.9	-	-	-	-
D/Eレシオ(倍)	0.34	0.36	0.40	0.41	0.40	0.40	0.40	0.37	0.37	0.38	0.32	0.32	-
海外売上比率	56%	54%	55%	57%	57%	57%	56%	59%	57%	63%	63%	63%	59%
人員(人)	30,304	29,805	28,620	28,278	27,911	27,911	27,882	27,771	27,771	27,185	27,230	27,230	27,700
基本的1株当たり 当期(四半期)利益(円)	73.37	△88.05	△98.90	7.01	19.36	26.37	5.31	△3.54	28.14	35.24	33.26	68.50	-
1株当たり配当金(円)	34.0	26.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0
1株当たり 親会社株主持分(円)	1,375.2	1,216.9	1,145.3	1,152.8	1,173.1	1,173.1	1,194.9	1,233.9	1,233.9	1,324.5	1,381.6	1,381.6	-

*1: 調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

*2: ROIC(投下資本利益率) = {調整後営業利益 × (1 - 税率25%) + 持分法投資損益} ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均資本)

*3: ROE(親会社株主持分当期利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 期首期末平均親会社株主持分 × 100

*4: ROA(資産合計当期利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 期首期末平均資産合計 × 100

*5: CCC(運転資金手持日数) = 運転資金[売上債権 + 棚卸資産 - 買入債務] ÷ 1日平均売上収益

参考データ(2)

主要製品 重量動向

2021年度1Qを100とした場合の指数

製品	2020年度				2021年度				2022年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
特殊鋼製品	工具鋼	67	67	68	87	100	107	109	106	102	92
	CVTベルト材	60	78	76	79	100	94	98	94	75	80
	ピストンリング材	38	40	97	100	100	97	107	95	100	92
	有機EL関連部材	88	88	120	75	100	113	118	115	133	122
素形材製品	鋳鉄製品 [Waupaca社]	53	98	95	105	100	96	91	104	106	100
	鋳鉄製品 [その他]	49	84	97	97	100	89	90	97	104	112
	耐熱鋳造部品 ハーキュナイト [®]	54	85	108	105	100	97	76	85	73	61
磁性材料 ・ パワー エレクトロニクス	希土類磁石	68	81	90	91	100	90	97	89	85	77
	フェライト磁石	60	76	100	103	100	88	84	88	86	79
	アモルファス金属材料 Metglas [®]	70	87	105	107	100	103	122	146	157	160
電線材料	電装部品*	56	93	114	111	100	93	109	107	96	125

* 電装部品は、簡易的な方法により集計した売上収益(為替影響を除外した金額)の指数

(参考) マーケット分野別事業構造(2020年10月～)

■ 事業ポートフォリオ

事業本部	事業セグメント	産業インフラ	自動車	エレクトロニクス
金属材料	特殊鋼製品	 タービンケース  工具鋼	特殊鋼  CVTベルト材	 クラッド材  リードフレーム材
	素形材製品	ロール  圧延用ロール	自動車鋳物  鋳鉄製品  耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]	
機能部材	磁性材料		磁性材料  ネオジウム磁石 [NEOMAX®]	 フェライト磁石 [NMF®]
	パワーエレクトロニクス		パワーエレクトロニクス  アモルファス金属 [Metglas®]	 窒化ケイ素基板
	電線材料	 鉄道車両用電線  FA・ロボット用ケーブル	電線 自動車部品  電動パーキングブレーキ用ハーネス	

(参考) 日立金属の事業構造(2020年10月～)

■日立金属の事業構造

事業本部	事業セグメント	事業部門	主要製品
金属材料	特殊鋼製品	特殊鋼	工具鋼、自動車関連材料、剃刃材および刃物材、精密鋳造品、航空機・エネルギー関連材料、ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料、電池用材料
		ロール	各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
	素形材製品	自動車鋳物	ダクタイル鋳鉄製品[HNM [®]]、輸送機向け鋳鉄製品、排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト [®]]、アルミニウム部品
		配管機器	設備配管機器(∪ [®] 印各種管継手・各種バルブ、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)
機能部材	磁性材料 ・ パワーエレクトロニクス	磁性材料	希土類磁石[NEOMAX [®]]、フェライト磁石、その他各種磁石およびその応用品
		パワーエレクトロニクス	軟磁性材料(アモルファス金属材料[Metglas [®]]、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット [®]]、ソフトフェライト)およびその応用品、セラミックス製品
	電線材料	電線	産業用電線、機器用電線、電機材料、ケーブル加工品
		自動車部品	自動車用電装部品、ブレーキホース

当社の業績は事業セグメント区分により開示しております。

将来の見通しに関するリスク情報

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となる主なものは次のとおりです。

- ①製品需要及び市場環境等に係るリスク
- ②競争優位性及び新技術・新製品の開発・事業化に係るリスク
- ③原材料等の調達に係るリスク
- ④人材確保に係るリスク
- ⑤製品の品質に係るリスク
- ⑥環境規制等に係るリスク
- ⑦為替レートの変動に係るリスク
- ⑧M&A・事業再編等に係るリスク
- ⑨情報セキュリティに係るリスク
- ⑩海外への事業展開に係るリスク
- ⑪安全衛生に係るリスク
- ⑫地震、その他自然災害等に係るリスク
- ⑬有形固定資産やのれん等の固定資産の減損損失に係るリスク
- ⑭親会社との関係に係るリスク
- ⑮資金調達に係るリスク
- ⑯法令・公的規制に係るリスク
- ⑰知的所有権に係るリスク
- ⑱退職給付債務に係るリスク